

## 2015 年度福岡大学医学部英語解答

- 1 (1)その技量は、実際にはけがをせずに、できるだけ地面に近づくように、ツルの長さを判断できることにある。(直訳)  
(2)実際にはけがもしないで、できるだけ地面近くまで落下できるようにツルの長さを判断できるかが腕の見せ所である。(意訳)

- 2 正解 (14, 15, 17, 20)  
受験生が判断に迷いそうな選択肢があった。福大も従前のような簡単な選択肢ではなくなったということ。英文も中程度のレベルの英文であった。

- 3 (a) 1 (b) 2 (c) 4 (d) 2 (e) 3 (f) 2 (g) 4 (2) 2  
この問題もレベルが上がっている。あまり受験生が勉強していない分詞構文の表現があった。まだ。久留米大学のレベルまではいかないが、近づいているのは間違いない。

- 4 (a) 4 (b) 4 (c) 2 (d) 3 (e) 4 (f) 1  
発音の問題であるが、2つが日本人には判断しづらいと思われる。発音の基礎はしっかりと学習すべきである。接頭語、接尾語、音声学の基礎は学習すべきである。

- 5 1. We are determined to let anything like that.  
2. That being the case, we can't complain about the price of oil going up.  
3. Many in their old age regret having idled away their precious time when they were young.  
4. It stands to reason that their children should be independent of their parents after a certain age.

下線部を施した部分の定型的な語句表現に関する知識が問われている。しっかりと勉強した人には型どおりの問題に見えただろうが、そうじゃない人には難問に見えただろう。従前のように、副詞、前置詞を使った解きづらい英文ではなくなった。定型表現の暗記が結果を左右するだろう。